



2025 年 3 月 21 日

各 位

会社名 株式会社オールアバウト
代表者名 代表取締役社長 江幡 哲也
(コード番号 2454 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 森田 恭弘
(TEL 03-6362-1300)

2025 年 3 月期第 3 四半期決算に関する質疑応答（要旨）

2025 年 3 月期第 3 四半期決算発表（2025 年 2 月 10 日）後に、株主・投資家の皆さまからいただいた主なお問い合わせやご質問とその回答について、下記の通り開示いたします。

なお、回答内容については時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性があります。直近の回答内容を最新の当社方針としております。

Q1： 第 3 四半期の業績について、どう評価しているか？

A1： 売上高は前期並みも、営業利益については中長期成長に必要な投資をこなしつつも前期比で改善、四半期ベースでは黒字に転じた。第 4 四半期においても戦略投資は実施しつつ利益を積み上げ、通期業績予想の達成を目指す方針。

Q2： 2025 年 3 月期第 3 四半期 決算説明資料の 16 ページについて、セッション数と広告単価の動向は？

A2： 検索エンジンのアルゴリズム変更等を含め様々な要因があり、2024 年 3 月以降セッション数は減少基調となるも、2025 年 3 月期第 1 四半期を底にその後改善傾向で推移している。当第 3 四半期においても、前第 3 四半期に比べると低水準だが、当第 1・第 2 四半期比では改善しており、足元も同様の傾向が続いている。
広告単価については、調整局面にあるとの認識は変わらないが、その中でも金融ジャンルなどの高単価コンテンツへの注力等もあり、前年同期比では改善傾向となっている。
セッション数については、短期的には減少することもあり得るが、基本的には優良コンテンツが評価される傾向は変わらないと考えているので、引き続き高単価コンテンツの強化等によりセッション数と広告単価の回復を図る方針。

Q3： PrimeAd の進捗は？

A3： 今期は商流規模を拡大させるフェーズとして、大手広告代理店の商流を乗せ替える取り組みとマネタイズポイントを増やす取り組みを推進している。その一環として、大手広告代理店向けに、業務の DX 支援を 7 月より開始した。既にある程度商流が確立されているテレビ CM や運用型広告以外の領域につき、広告主への提案に必要な業務を PrimeAd が 1 つにまとめて提供する取り組みで、こちらの業務支援を通じて広告代理店からも手数料をいただく仕組みとなっている。実際に大手広告代理店からも評価をいただいております。今後受注案件の獲得に注力し、従来のビジネスマッチング手数料に加えて新たな収益の柱として拡大させ、来期以降の売上・利益拡大につなげる方針。

- Q4： コンシューマサービスセグメントの状況は？
- A4： サンプル百貨店は、原価上昇の影響が大きく四半期での増減変動が大きいものの前年比較では改善基調と認識している。d ショッピングを含むコマース領域についても概ね堅調に推移している。一方で、2024 年 3 月に事業撤退を決定した株式会社オールアバウトライフワークスの売上高減少が影響し、セグメント全体で見ると若干の減収となった。一方利益面では、同社の事業撤退に伴う対応やそれ以外の部分でのコスト削減等により、営業利益は前期比で増益となった。

以上

- ・ 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき当社が判断したものであり、マクロ環境や業界動向等により変動することがございます。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。
- ・ これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動等、一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ・ 投資判断を行う際は、必ず当社が開示している資料をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

株式会社オールアバウト

🖥 企業サイト <https://corp.allabout.co.jp>

🖥 IR 情報 <https://corp.allabout.co.jp/ir/>

▶ 2025 年 3 月期第 3 四半期決算説明動画は[こちら](#)

📄 2025 年 3 月期第 3 四半期決算説明の書き起こしは[こちら](#)

IR 情報 ▶

